

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105743
法人名	有限会社 媛のくに
事業所名	グループホーム 媛のくに
所在地	愛媛県松山市枝松3丁目1-23
自己評価作成日	平成25年11月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年12月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

*ホームの理念に掲げているように、ご利用者、スタッフ笑顔のにこだわり、明るく笑い声の絶えないホームを目指しています。
 *個々の思いに耳を傾け「こんな事したい」「こんな所に行きたい」という希望を可能な限りかなえる事が出来るよう努めています。
 *近隣のスーパー、食べ物屋さんなどに出掛ける事で、出来るだけ地域に溶け込めるよう、また生活の幅が広がるよう支援しています。

●入浴を面倒がるような利用者には、前回の入浴日をお伝えする等、「もうそろそろいかがですか」とお誘いしている。又、職員と一緒に歌を歌って楽しい気分を作り、入浴につなげるような場合もある。
 ●「自然な形で最期を迎えたい」とご家族の希望があり、今年10月には、1名の利用者の看取りを支援された事例がある。ご家族は、毎日、交代で来られ、ともに看取られた。利用者ご本人は、最期までポータブルトイレでの排泄を望まれ、前日まで希望通り支援することができたようだ。医師は職員に、「怖くない、慌てることはない」とアドバイスがあり、24時間いつでも直接連絡が取れるような体制でサポートしてくださった。
 ●以前は、墓参りに職員と出かけていた利用者の方が、車いすを必要とするようになり、墓地まで行くことができなくなったが、現在は、車で墓地の近くまで行き、職員が利用者者に代わって墓前に線香を手向けておられ、利用者はとて安心をされているようだ。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目：11, 12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30, 31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 媛のくに

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)

氏名 日野 玲子

評価完了日 平成25年11月20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価)	
			入り口に掲示したり、日誌にも印刷する事で、いつも目に触 れ、常に理念を意識し、共有できるようにしている。	
			(外部評価)	
			事業所は、「笑顔や笑い声の絶えない居心地の良い家庭的 な雰囲気作りをします」「地域の中でその人らしく当たり前の 普通の生活が送れるようお手伝いいたします」と理念をつく り、1階の入り口と、エレベーター横に掲示されている。又、 日々、職員が理念を意識して取り組めるよう、業務日誌にも 記しておられる。管理者は、日々の中で、利用者に安心して もらえるよう、職員が笑顔で接することの大切さ等を話してお られる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価)	
			地域の方に運営推進会議に参加していただいたり、地域の 行事に参加させていただいたりしている。またお花や野菜な どいただく事もある。	
			(外部評価)	
			散歩に出かけ、近所の方が丹精されているバラを見せてい たり、利用者と一緒にゴミ捨て場所の掃除をされること もある。町内会長からは、公民館活動等の情報を教えても らったり、時には、職員が地域の回覧版や瓦版作りのお手伝 いをされている。今後は、地域に向け、認知症についてのお 話をするような機会も作っていきたいと考えておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議の際に活動報告したり、ホームの夏祭りに参 加していただいた時等に、ご利用者と職員との関わりを見て いただいている。また、質問、相談を受け付ける体制は整え てある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>概ね2ヶ月に一回開催し、ホームの活動報告、外部評価の結果報告等し、意見や質問、助言をいただきケアの質の向上に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議には、町内会長、近所の方、ご家族、市の担当者、近隣の3グループホームにも参加いただいております。事業所から、現状や行事の報告を行い、意見等を聞いておられる。会議時、参加者には、電気代やガス代の値上げについての意見をうかがった。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議に参加していただいた際、事業所の状況を報告したり、取組みについて伝えている。また市主催の事業者連絡会に必ず参加したり、運営上の疑問、問題等あればその都度質問、相談している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、地域の高齢者の実情や感染症の情報をいただいている。地域包括支援センター主催で、小学校に認知症についての絵本の読み聞かせに行かれた時には、職員もお手伝いし、子ども達からの質問に丁寧に答えられた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ミーティングや日々の申し送り等で具体的な行為を振り返り、確認している。職員間で声掛け合い連携を図って夜間以外は施錠しないよう徹底している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>2階入口のチャイムは、耳ざわりにならないようにと、小鳥のさえずりの音にされており、音で人の出入りが分かるようにされている。ベッドから転落の心配がある利用者は、床にマットレスを敷き休めるようにされたり、ベッドの足もとにマットレスを敷き対応しておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待に繋がり兼ねない不適切ケアについて、全職員がもっと理解を深める必要がある。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会などに参加し理解を深め、必要があれば活用できる。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約前には自宅を訪問したり、ホームを見学していただいたり、関係作りを心がけている。また契約時には、利用料、起こりうるリスク、重度化や看取り、医療連携の実情についての説明を行い、理解・納得を図っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議時に参加して頂いた方に意見や思いを伝えられる機会を設けている。ご家族には、ケアプラン変更時に文書にて意見を求めたり、ご家族面会時に意見、要望等を伺っている。 (外部評価) ご家族へは、毎月送付する書類とともに写真や状況報告を同封されている。事業所便りは、2年前から休止となっている。ご家族の来訪時に要望をお聞きしているが、現在、ご家族は、「今のままで十分」と言われることがほとんどのようだ。中には、「出来るだけ外出させてほしい」と希望もあるが、職員の人手のこともあり、支援に制限もあるようだ。今後は、ご家族とのかかわりを深めたいという事業所の思いから公民館をお借りして、近隣の3グループホーム合同で演奏会等を開催したいと考えておられた。	ご家族は、利用者をともに支えるケアパートナーでもあり、今後はさらに、ご家族との関係作りへの取り組みに工夫を重ねていかれてほしい。時には一緒に活動されたり、一緒に勉強されたりするような機会も作ってみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月1回の定期的なミーティングを設け、情報の共有、意見や提案を聞く機会を設けている。またそれ以外にも、その都度意見や提案を聞くようにしている。	職員個々のスキルアップからケアの質向上を目指していかれてほしい。研修の年間計画を立て取り組まれたり、又、チームワークを育てるような取り組みに力を入れて取り組まれてほしい。
			(外部評価) 食事について、職員の意見もあり、業者からの配食を試されたが、利用者の評判が良くなく、現在は、調理専門の職員を配置し、食材の配達を利用して、食事を手作りされている。利用者の重度化に伴い体重測定が難しくなったため、職員からの提案で、車いすに乗ったまま計れる体重計を購入する予定となっている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 運営者も頻繁にホームに来ており、職員に声を掛けてくださったり、ご利用者と共に過ごすことにより現場の状況の把握をしている。 健康診断も定期的に(夜勤者年2回、それ以外年1回)行っている。	
			(外部評価) 管理者が個々の職員の能力に応じた研修を勧め参加しているがまだまだ十分ではない。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 同地区のグループホーム3ヶ所で相互に運営推進会議等行き来し、交流を深めている。また、グループホーム連絡協議会や、社協が開催する研修会に積極的に参加し、同業者と交流する機会を設け意見交換等しサービスの質の向上を図っている。	
			(外部評価) 同地区のグループホーム3ヶ所で相互に運営推進会議等行き来し、交流を深めている。また、グループホーム連絡協議会や、社協が開催する研修会に積極的に参加し、同業者と交流する機会を設け意見交換等しサービスの質の向上を図っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 同地区のグループホーム3ヶ所で相互に運営推進会議等行き来し、交流を深めている。また、グループホーム連絡協議会や、社協が開催する研修会に積極的に参加し、同業者と交流する機会を設け意見交換等しサービスの質の向上を図っている。	
			(外部評価) 同地区のグループホーム3ヶ所で相互に運営推進会議等行き来し、交流を深めている。また、グループホーム連絡協議会や、社協が開催する研修会に積極的に参加し、同業者と交流する機会を設け意見交換等しサービスの質の向上を図っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前面談で、これまでの生活歴、環境、不安、要望などをご本人、ご家族様から親身に聞き取り、ホームでの対応方法を事前に話し合い検討し、柔軟に対応できるよう努めている。	
			(外部評価) 事前面談で、これまでの生活歴、環境、不安、要望などをご本人、ご家族様から親身に聞き取り、ホームでの対応方法を事前に話し合い検討し、柔軟に対応できるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>事前面談時に、ご本人とは別に話を伺う機会を設け、ホームに対する要望、不安等ご家族の思いに耳を傾け、納得いくまで説明、話し合う事で信頼関係が築けるよう努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>事前面談時によく話し合い、要望や不安等をよく聞き意向を確認している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節の行事やしきたりなど、教わったり、手伝って頂いたりしながら生活を共にしている。また、個々の得意な事を把握し活躍できる場面を多くできるよう支援している。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族面会時には近況報告したり、居室で一緒にゆっくりと過ごしていただけるようにしている。請求書送付時に写真付きで近況報告の手紙を同封する事もある。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>積極的なアプローチは行えていないが、ご本人、ご家族の希望があれば支援していきたい。</p> <p>(外部評価)</p> <p>以前は、墓参りに職員と出かけていた利用者の方が、車いすを必要とするようになり、墓地まで行くことができなくなったが、現在は、車で墓地の近くまで行き、職員が利用者に代わって墓前に線香を手向けておられ、利用者はとても安心をされているようだ。友人への手紙を預かり、職員がポストに投函する等、利用者が文通を続けられるよう支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員はご利用者同士の相性、関係を把握し注意深く見守っている。 食堂での席、外出時の配車等も配慮している。 時として起こるご利用者同士のトラブルもお互いの気持ちを十分配慮し間に入っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他施設や入院された方には面会に行ったりしている。 また、ご家族には、いつでも相談に応じられる事を伝えている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人、ご家族の思い、希望を伺うなどし情報を集め把握に努めている。 確認困難なご利用者は、日頃の言動、表情、生活暦などから思いをくみ取るよう努め、検討している。 (外部評価) センター方式の基本情報シートをもとにして、事業所独自でシートを作り、利用者の思いや意向の情報把握に努めておられる。利用者がテレビの歌番組をみている時、リズムを取っているような曲があれば、職員は、時にその歌を歌いながら利用者にかかわる等して、ケアに工夫されている。職員が側にいないとさみしがるような利用者がおられるが、職員が側に居れないような時には、ご家族に連絡を取り、寄り添ってもらえるようなこともある。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居前にご本人、ご家族に聞き取りを行ったり また、協力的なご家族にはセンター方式の用紙をお渡しし、記入していただく事により生活歴等の把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活リズムを理解すると共に、日々の支援の中での変化、気づき等職員間で共有し、支援内容の検討をその都度行うよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	
			<p>ご本人、ご家族の意向、要望を伺い職員全員でカンファレンスを行いケアプランを作成している。 毎月各担当者が他の職員の意見なども聞きモニタリング行っている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>ご家族の来訪時や電話にて、利用者の様子をお伝えして、ケアや暮らしへの要望を聞き取るようにされている。計画書は、毎月、担当職員がモニタリングを行い、6ヶ月ごとの見直しにつなげるようになっている。職員は、介護計画を立案する際には、歌やオセロ等、利用者の楽しみごとを盛り込むようにされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>ご利用者の変化等、個別の経過記録に記入し情報の共有をしている。特に注目してほしい記録にはマーカーを記している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>ご本人、ご家族の意向を配慮し、できる限りの支援を柔軟に行うよう努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>ご本人、ご家族の意向を配慮し、できる限りの支援を柔軟に行うよう努めている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>運営推進会議に地域の方に参加していただく事により、地域で行われる行事の日時、公民館活動などの情報を得る事ができ、参加させていただいている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	
			<p>運営推進会議に地域の方に参加していただく事により、地域で行われる行事の日時、公民館活動などの情報を得る事ができ、参加させていただいている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>運営推進会議に地域の方に参加していただく事により、地域で行われる行事の日時、公民館活動などの情報を得る事ができ、参加させていただいている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居時ご本人、ご家族と相談しかかりつけ医を決めている。提携病院の週1回の医師の往診と、看護師の訪問で日常の健康管理、異常の早期発見に努めている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者全員が系列医療機関をかかりつけ医にされており、毎週往診がある。又、看護師長も来られ、利用者は看護師長に体調について相談等されるようだ。必要に応じて近隣の歯科、皮膚科、整形外科等を受診できるよう支援されている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>提携病院の看護師が週1回訪問していただき、日頃の健康管理、医療面での相談、助言、対応を行ってもらっている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院時にはご本人の情報を提供している。また職員が頻繁に面会に行く事により病院での状況を把握し速やかな退院支援に結びつけている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご利用者、ご家族が安心してサービスを受ける事ができるよう医師を交えて話し合いを行っている。またご本人の状態の変化に伴い変化していくであろうご家族の思いに添えるよう柔軟な対応をしていき、納得できる最期となるよう支援したい。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>入居説明時には、利用者やご家族に重度化や看取り支援について説明を行っておられるが、「まだ分からない」と言われるご家族もあり、状態変化時にその都度、事業所の出来ることを伝えながら、意思確認を行っておられる。「自然な形で最期を迎えたい」とご家族の希望があり、今年10月には、1名の利用者の看取りを支援された事例がある。ご家族は、毎日、交代で来られ、ともに看取られた。利用者ご本人は、最期までポータブルトイレでの排泄を望まれ、前日まで希望通り支援することができたようだ。医師は職員に、「怖くない、慌てることはない」とアドバイスがあり、24時間いつでも直接連絡が取れるような体制でサポートしてくださった。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 全職員が対応できるよう、年2回消防署員指導による応急手当、蘇生法訓練を実施している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回ご利用者と共に火災避難訓練を行い、近隣の方にも訓練に参加していただいている。 火災以外の災害については、具体的な訓練は行えていない。防災マニュアルも十分なものではなく、検討が必要。	
			(外部評価) 避難訓練は、夜間の火災を想定して年に2回、消防署の協力のもと実施されている。近隣の方の参加もあり、利用者が外に避難した時の見守りをお願いされた。訓練を実施して、「レスキューマットは準備に時間がかかる」ことが分かり課題に挙げられた。又、備蓄や火事以外の災害に対する訓練は今後の取り組みとなっている。事業所は、耐震構造でもあり、消防署の方からは、「地域の避難場所にもなる」とのアドバイスもあった。近くの有料老人ホームで避難訓練を実施する際には、管理者が参加して、いざという時に協力し合えるような体制作りをすすめておられる。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) まだまだご利用者への配慮に欠ける声掛け等が気になる為、その都度職員同士で注意しあっている。	
			(外部評価) 男性職員が女性利用者を介助する場合、利用者が嫌がるようなそぶりがみられた時には、女性職員に替わるようにされている。職員が利用者にとってもらうような場合には、「これが終わったら来るからね」と理由を伝えるようにしておられ、又、「してあげる」というような言い方はしないことを職員間で申し合わせておられる。時に、職員の利用者に対する言葉かけや対応については、利用者への配慮が必要と感じる場面も見受けられる。	さらなるケアの質向上を目指して、利用者の立場に立ってケアを点検するような機会を作ってはどうだろうか。そのような取り組みを運営推進会議で報告されたり、ご家族にも発信していかれてほしい。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ご利用者が決めやすい(答えやすい)問いかけを心掛けています。ご自分の思いをストレートに表出できる方が少なくなりましたが、表情等の反応を汲み取るよう努めたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々のペース、リズム等考慮し、その日の状況、気分で変化 する気持ちを尊重し支援しようと努めているが全て出来てい るとはいえない。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	(自己評価) 頭髪、衣服の乱れ等気につけ、さりげなく直して差し上げて いる。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) もやしの根切、ジャガイモの皮むき等、出来る方にはしてい ただいている。 (外部評価) 料理の得意な職員を中心に献立を考えながら、食事を作っ ておられる。食事前にテレビを消して口腔体操を行っておら れ、小柄な利用者の方には、足台を置き姿勢を整えて食事 ができるよう支援されている。調査訪問日の昼食時、職員 は、利用者の席にお膳を配って、個々に利用者の方と一緒に 手を合わせ、「いただきます」とあいさつし、職員が「どうぞ めしあがってください」と声をかけておられた。職員は、ミキ サー食の方の隣りに座り介助されており、利用者の口の中の ものがなくなったのを確認してから食事を口に運んでおられ た。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分摂取量を記録し把握行っている。 おじやにしたりし、ミキサーにかけたりしその日の状態に合わ せて提供し召し上がっていただいている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後ご利用者に合わせて歯磨き支援行っている。 また、洗口液、口腔ケア用ウエットティッシュ等使用し口腔内 の清潔保持に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄チェック表にて排泄パターンを把握し、時間誘導を行っている。立位困難なご利用者も日中は2人介助にてトイレ誘導行っている。	
			(外部評価) 水分摂取量と排泄状況を照らし合わせて確認できるような記録となっており、職員はチェックしながら、日中は、なるべくトイレでの排泄ができるよう支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェック表と水分チェック表を1枚の用紙にし、水分補給の徹底を意識している。食事面でも食物繊維の多い食材等意識している。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴を拒まれる方は無理強いせず翌日に変更したり、ちがう職員が声掛け行ったりチームプレイで行っている。時間等ご利用者の希望に添ったものではないが、入浴中は1対1のコミュニケーションの時間とし歌を唄ったり、楽しい時間になるよう努めている。 特に希望される方がいない為、夜間入浴は行っていない。	
			(外部評価) 週2~3回入浴できるよう支援されている。仲良しの利用者同士で楽まれることもある。1階ユニットの浴室には、機械浴の設備があり、利用者の状態に応じて利用しておられ、浴槽で温まることを支援されている。入浴を面倒がるような利用者には、前回の入浴日をお伝えする等、「もうそろそろいかがですか」とお誘いしている。又、職員と一緒に歌を歌って楽しい気分を作り、入浴につなげるような場合もある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) ご利用者個々のペースで日中、居室やフロアソファ等で休息をとっていただいている。 また、夜間不眠になりやすい方は日中の活動性が上がるよう支援していきたい。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方や用量が変更されたら、日誌、連絡ノートに記載し全員把握している。下剤などは状態を診て、Drと相談しその都度細やかに調整している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 好きな音楽を聴いて頂いたり、季節を肌で感じて頂けるよう、季節の行事、外出支援をし気分転換を図っている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ご本人の体調や気分に合わせて支援していきたいが外出の機会は減ってきている。	利用者の外出への意欲を引き出せるような支援に工夫をされてはどうだろうか。利用者の希望や以前の習慣を探ったり、ご家族やボランティアの方等の協力を得ながら、支援につなげていかれてほしい。
			(外部評価) 2～3名ずつでドライブに出かけたり、コンサートや美術館に行きたいと希望される方には、個別に職員が付き添われている。病院受診の帰りにお茶を飲んで帰ることもある。誕生日には、個々の希望に応じた支援を行っておられ、回転すしでの食事を希望する方が多いようだ。利用者は、外出を好まなくなっている傾向にあり、現在は、外出する機会は減っているようだ。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お財布はホームで管理させていただいているが、今後希望や能力に応じ柔軟に対応していきたい。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望時には支援しているが、頻度は少ない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) フロアの窓からは田んぼが見え、田植えや稲刈りなど季節を感じることができる。また、調理の音や匂いを感じることで生活感も感じることができ、調理しながら会話をするなど交流しやすい環境にある。	
			(外部評価) 玄関周りには草木や花壇が整備されており、利用者や職員が水やり等の世話をされている。調査訪問時、玄関には小菊の花を飾り、居間や居室のドアには、クリスマスの飾り付けをされていた。金魚を飼っておられ、時には利用者が餌をあげたりされている。居間のテーブル席ではオセロを楽しんでおられる利用者の様子がみられた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 相性等考慮し、テーブルの位置、席を決めている。ソファで気の合うご利用者同士で歌を唄ったりおしゃべりされたりしている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居心地良くすごして頂くために、寝具やタンス、椅子など使い慣れたものの持込をお願いしている。入居後もご本人の希望や状態に添ったものを揃え、居心地良く安全に過ごして頂けるよう支援している。	
			(外部評価) ベッドが備え付けられており、その他のものは利用者が使い慣れたものを持参いただけるよう、お願いされている。たんすや椅子の設置場所等は、利用者や相談しながら決められる。居室にご自分の洗濯ものを干す方や、壁にご家族やご自分の写真を貼っている方もいる。仲良しのお二人が日当たりのよい居室のソファでテレビを見て過ごされているのを見て、最近、事業所でテーブルを用意され、お茶を楽しみながら過ごせるような環境を作られた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下、階段には手すりが設置し車椅子が離合できる幅もあり、安全に配慮している。また、状況に合わせた環境整備に努めている。テーブルの配置など変更した場合は、混乱を招かないよう気を配っている。	